

	A	B	C				D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
1																				<様式10-1>		
2			令和4(2022)年度児童館事業年間活動報告書																	市原野児童館		
3			参加人数																			
4			活動名	実施回数	乳幼児	小1~3年	小4~6年	中学生	大人	ボランティア	高校生	大学生	大人	合計	内 容				成 果 と 課 題			
5																						
6			(1) 日常の自由遊び活動																			
7			(2) 遊びの教室活動																			
8			卓球週間	9		14	101	1	7								123	館内卓球大会に向けて、学年ごと、レベル別に練習を行う。	館内大会に向けて、継続的に卓球の練習に取り組み、子どもたちの意欲を高めることができた。初心者にはラケットの持ち方から丁寧に指導を受け、技能向上にもつながった。			
9			ちよばあの手づくり広場	15		34	104	11	27							13	189	ボランティアの千代先生と季節に合わせた工作を行う。	「羊毛フェルト工作」「まつぼっくり工作」「あみもの」など、様々な手づくりを通して、子どもたちが自分で1つのものを作り上げる喜びや工夫する力を得ることができた。			
10			かまぼこ落とし月間	14		6	148	3	33								190	夏休み期間中に「かまぼこ落とし」に集中して取り組む。	館内大会に向けて、継続的にかまぼこ落としの練習に取り組む。検定カードにより子どもたちの意欲関心を高めることができた。			
11			本の虫プロジェクト「ポップづくり」	3	2	5	20		3				2				5	37	ポップコンクールに応募する、ポップを作成。地域のボランティアの方に指導いただく。	ポップ制作を通して、改めて、絵本の素晴らしさを理解体感することができた。絵本の楽しさを広く知らせる良い機会となった。		
12			川島織物セルコン企画「カラフルメッセージカード」	2		1	19		7				3				3	33	毎年8月に行っている川島織物セルコンとのコラボ企画。	普段の工作ではあまり使わない素材を使ってメッセージカードを作り、子どもたちの興味関心を広げる体験となった。また、地元企業を知る良いきっかけにもなった。		
13			ドキドキもぐらたたき	1		6	4		1								2	13	土曜日企画。地域の工作ボランティアの方を招いて、モグラたたきを作った。	地域の方の企画と指導で、大型段ボール、木材、ノコギリ、ガムテープなどを使って工作した。子どもたちの関心も高く、普段よりも難しい工作に取り組む良い機会となった。参加者の交流も深まった。		
14			ハロウィンランタンづくり	1		7	2	1	1									11	土曜日企画。季節の工作としてランタンづくりをおこなった。	それぞれが工夫してオリジナルな作品を作ることが出来た。工作を通して季節を感じる事ができた。		
15			京焼・清水焼絵付け体験	1	3	10	4	2	1				7					27	伝統工芸体験事業。湯呑の絵付け体験。	普段なかなか接することができない、京都の伝統工芸の技術を経験することができた。来年度も企画があれば、応募参加したい。		
16			メカバラ!	1	1	4	12	2	4				1			1	1	26	故障して廃棄する家電を分解して、その仕組みを調べる。	平日企画としては参加申し込み多数。多くの子どもたちが興味好奇心を持って、機械の分解に取り組むことができた。要望の声も多く、来年度も改善して企画したい。		
17			はじめの一歩!将棋練習場	9		7	51	7	16									82	将棋あそびを定着させる集中的な取り組み。初心者から参加できる。	あまり将棋をしたことがなかった子どもたちも崩し将棋やはさみ将棋からスタートし、将棋に親しみきっかけになった。取り組み表を掲示して意欲向上に繋がった。将棋に興味を持つ子ども増え、将棋大会への参加につながった。		
18			干支のウッドオーナメント	1	2	6	3		1				5					3	20	地域ボランティアによる工作教室。R5年の干支「うさぎ」をモチーフにしたウッドオーナメントの制作。	釘や金づちなど、普段の工作ではあまり使わない道具素材も使用してオリジナル作品を作った。子どもたちの興味関心を広げる体験となった。また、地域ボランティアさんの活躍で交流が深まった。	
19			ドッジボール練習	14		10	165	8	31	7								221	ドッジボールの集中的な取り組み。交流ドッジボール大会の出場を目標とする。	ドッジボール大会に向けて、何度も練習することで、技術も向上し、参加者の交流も深まった。子どもたちの体力的精神的成長を促す経験となった。		
20			どきどき風船あそび	1	1	9	2	1	1				1					15	ペンシルバルーンでバルーンアートの制作等。	普段のあそびでは使用しないペンシルバルーンを使った工作などを通じて、子どもたちのあそび体験の幅を広げることができた。		
21			まんがづくりワークショップ	1		5	3	1	1								1	11	「ペン入れ」「トーン貼り」などマンガ制作の体験。	まんがに興味のある子が多く、参加申し込み多数。マンガ制作を体験できる貴重な機会となった。子どもたちの体験の幅を広げることができた。		
22			(3) 行事活動																			
23			「はじめましてじどうかん」実行委員会	1			3	1	2									6	「はじめましてじどうかん」を運営する子ども実行委員。台本や発表内容を考え、当日運営する。	子どもたちが自主的に児童館を紹介する企画を考えることで、子どもたちの主体性を伸ばすきっかけとなった。		
24			はじめましてじどうかん	1	1	3	22		7				2					35	スタンブラリーで、児童館めぐり、施設やあそびを知るイベント。	新1年生やその保護者がはじめて児童館に遊びに来る良いきっかけとなった。実行委員も達成感を得ることができた。		
25			避難訓練	11	9		110	1	30				8				5	163	地震や火事のほか、防犯訓練などもおこなう。毎月1回実施。	地震や火事を想定して避難訓練を行った。また、人形劇やクイズなどで分かりやすく防災の大切さを伝えた。継続的に開催することで子どもたちの防災意識を高めることができた。		
26			いちはらのネイチャービンゴ	1		8	2	3	2									15	土曜日企画。児童館周辺を散策しながらネイチャービンゴをおこなう。	草花や生物を探すビンゴカードを使って意欲関心を高めつつ鞍馬川まで散策した。身近な自然に触れる良い体験となった。		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
27			おみせやさん子ども実行委員会	4		10	10	4	9						33	「おみせやさん」を運営する子ども実行委員。オリジナルのゲームコーナーを考えて、当番を行う。	イベントの準備運営をすることで、子どもたちの社会性や自主性を伸ばすきっかけとなった。また、達成感を得ることができた。
28			おみせやさん	1	3	23	19	14	4		5			5	73	児童館で駄菓子を買ったり、コーナー遊びを楽しむ。事前チケット購入制。	コロナ禍のため、3年ぶりの開催となった。乳幼児親子から小学生までが参加し、地域ボランティアの協力もあり、地域の繋がりを再確認することができた。今後も交流がさらに深まるような内容としたい。
29			卓球大会	2	1	5	35	4	10		4				59	館内卓球大会。学年別に2日間かけておこなった。	多くの子どもたちが意欲的に参加できるように、学年別に試合形式を変える工夫をした。子どもたちが卓球に親しむよい機会となり、これ以降卓球への関心が広がった。
30			「なつまつり」子ども実行委員会	7		15	23	12	20					1	71	「なつまつり」を運営する子ども実行委員会。遊びのお店を考えて、準備を行い、当日の当番を行う。	夏まつりに向けて、小学生2年生以上から実行委員を募り、企画運営をした。自分たちの企画が具現化することで子どもたちの充実感に繋がった。他の実行委員会に参加するきっかけにもなった。
31			なつまつり	1	30	30	23	15	9	2	67			21	197	遊び、駄菓子、ジュースなど各コーナー。最後に火花鑑賞。申し込み2部制。	コロナ禍のため、人数を分けて2部制で開催。乳幼児親子、小学生から地域ボランティアまで、たくさんの方が参加があった。楽しい時間を過ごすことで交流を深めることが出来た。来年度、さらに充実した内容としたい。
32			合同館外企画「川あそび」	1		5	18	1	8		3			1	36	鞍馬川で川遊び。	児童館から近い鞍馬川で水あそびを楽しんだ。自然に触れる良い経験となった。学童クラブ保護者の見守りもお願いした。来年度も安全対策を徹底して実施したい。
33			かまぼこ落とし大会	1		2	16		6		1				25	「かまぼこ落とし」あそびの館内大会。	くじ引きで決めた縦割りのチームで対戦したことで、子どもたちの交流を深めることが出来た。かまぼこ落としあそびを子どもたちに広めるきっかけとなった。
34			こどもまつり実行委員会	3		12	2	8	3						25	「こどもまつり」を運営する実行委員。遊びのコーナーを考えて、作った。	イベントの準備運営をすることで、子どもたちの社会性や自主性を伸ばすきっかけとなった。また、達成感を得ることができた。今後も子どもたちのアイデアを大切に、よりよいものとする。
35		基本活動	じどうかんこどもまつり	1	34	37		10		3	37			24	145	地域の子供たちが喜ぶ楽しい体験を提供する。地域とのつながりを維持し、さらなる活性化を目指す。	20年の歴史を振り返るパネル展示や、子ども実行委員会の企画など。乳幼児対象と小学生対象に分け、4部制で開催。たくさんの方の地域の方に参加していただき、20周年を祝うことができた。
36			とびだせ！やんちゃんねる取り組み	4	10	9	32		10		10				71	児童館をPRするための動画を企画、撮影しwebサイトに公開。	「大きくなったらなにになる？」をテーマに乳幼児親子さんから小学生まで、カメラの前で発表してもらった。たくさんの方に見ていただき、児童館を広くアピールする機会となった。
37			あつまれ！やさいもパーティー	1	9	14	18	1	4	4	8			2	60	児童館グラウンドでやさいもを焼いて、参加者に無料提供する。	児童館グラウンドでやさいもを焼いて、無料提供する。年長児童親子が来館しやすい就学前健診の日に設定。児童館・学童クラブを知ってもらうきっかけとした。
38			総合避難訓練	1		5	18		5	1	3				32	鞍馬消防出張所、市原野消防分団の方にご協力いただき、避難訓練をおこなう。	避難訓練、水消火器体験等。講評では、逃げて終わりではなく、点呼確認までが訓練であるとの話があった。消防署・消防団の参加により、より緊張感を持って訓練することができた。
39			秋探しピクニック	1	2	7	4	2	1		2				18	幡枝八幡宮と幡枝石清水公園におでかけ。	秋の公園でのびのびと遊んだり、神社をお参りしたり、行き返りの長い道中を歩いたり、季節を感じつつ、たくさん身体を動かして遊ぶことで、参加者同士の交流も深まった。
40			年越しパーティー子ども実行委員会	4		9	10	3	6						28	「年越しパーティー」を運営する子ども実行委員会。企画を考えて、準備を行い、当日の当番を行う。	行事の企画運営をすることで、子どもたちの社会性や自主性を伸ばすきっかけとなった。実行委員の経験者も多くなり、より充実した内容とすることができるようになってきた。
41			大そうじ	1		10	17		3						30	児童館を利用している子どもたちが、館内を掃除する。	普段使用している部屋やおもちゃなどを掃除してきれいにすることで、清掃することの気持ちの良さや達成感を体験し、ものを大切にすることを学ばすきっかけとなった。来年度も企画したい。
42			年越しパーティー	1		10	17	2	3						32	実行委員と高学年クラブが企画したみんなあそびを行う。	楽しい時間を共有することで、子どもたち同士の交流も進んだ。できるだけ多くの子どもたちに参加してもらえようさらに工夫したい。
43			初詣&遊びはじめ会	1		1	13		2						16	地域のお寺に初詣。その後、館に戻り、お正月あそびをする。	日本の伝統行事、昔あそびに触れる良い機会となった。またグループごとに遊びコーナーを回ったので、参加者の交流も進んだ。
44			市原野児童館本将棋大会	1	1	4	14	2	3		4			1	29	館内将棋大会。低学年トーナメント戦・高学年リーグ戦の2部制。	将棋タイマーを使用して時間制限有りの、本格的な本将棋大会となった。子どもたちも緊張感と集中力を持って試合に臨む、良い経験となった。各部門の入賞者2名ずつは京都子ども将棋交流大会へ出場した。
45			まめまき！	1	1	3	14		5		1			1	25	季節行事として豆まきを楽しみ、無病息災を祈る。	日本の伝統行事に触れる良い機会となった。またグループごとに遊びコーナーを回ったので、参加者の交流も進んだ。
46			Zooつとあそび！いちはらのじどうかん	1	82	42		18		2	116			13	273	市原野児童館開館20周年企画イベント。移動動物園の開催。	令和4年度行事で一番多くの参加者があった。4部制で開催、各回に児童館に関わりの深い方に挨拶をお願いした。楽しい時間を共有することで改めて地域の繋がりを実感する機会となった。
47			ひなまつり実行委員会	3		2	6	6	2						16	「ひなまつり」を運営する実行委員。遊び・出し物の企画・準備、当日の進行を行う。	実行委員が自分たちで企画を話し合い準備を進め、当日の進行をすることで、子どもたちの自主性と社会性を伸ばす経験となった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
48			おひなまつり会	1		3	4	3	16						26	実行委員が企画した、ひなまつりにまつわる遊び・ゲーム・出し物を楽しむ。	日本の伝統行事に触れる良い機会となった。みなで楽しい時間を過ごすことで参加者の交流も進んだ。実行委員の達成感にもつながった。
49			みんなで出かけ！	1		11	20	6	2						39	交流ドッジボール大会へ参加。その後、宝ヶ池公園で春探しピクニック。	公共交通機関を使ってのお出かけ、ドッジボール大会への参加、公園あそびを通じて、参加者の交流も深まり、子どもたちの社会性自主性を伸ばし、体験の幅を広げるきっかけとなった。
50			ありがとうパーティー	1	13	6	20	7	3	4	17				70	低学年クラブが企画したみんなあそびをする。	「おぼけやしき」「キックベース」「風船バレー」「かんけり」、グラウンドで昼食など。参加者全員で楽しい時間を共有し、児童館で過ごした一年間を皆でお祝いすることができた。
51			(4)クラブ活動														
52			運動クラブ「ジャンプ」	45	5	162	652	30	173	9	8				1039	1年を通して様々なスポーツを楽しむクラブ。小学生対象。	ドッジボールやキックベース、大縄、卓球など、運動あそびを通して子どもたちの自主性、社会性を伸ばすことができた。来年度も運動内容を工夫してより良いものとした。
53			低学年クラブ	23		48	403	3	35	4	2			1	496	話し合いを通して、遊びや行事の内容を決め、実現していくクラブ。1～3年生対象。	月1回のみんなあそびの企画を考えていく中で、低学年だけで、話し合いや作業を進め、自分たちであそびを作り出すことができるようになった。自主性や社会性が育まれるきっかけとなった。
54			高学年クラブ	12				113	21					1	135	高学年が自分たちのやりたいことを、自主的に企画運営するクラブ。4～6年生対象。	高学年ならではの難しい工作に挑戦したり、お出かけなどを企画した。活動を通して、高学年らしい自主性や社会性を伸ばすことが出来た。来年度も、子どもたちの意見を取り入れてより充実した内容としたい。
55			あそびバ!!	12	13	30	211	13	61	7	18				353	低学年クラブで考えた遊びをみんなで遊ぶ。「リレー」「おうさんとり」「お店屋さんごっこ」「動物将棋大会」など。	集団あそび、異年齢の縦割りグループでの活動などを通して、子どもたちの自主性、社会性、仲間意識を伸ばすことができた。
56			絵本クラブ「ゆかいなくま」	23	20	65	142	1	35	4	21		9	36	333	地域の読み聞かせボランティアの方と一緒に、絵本の読み聞かせやワークショップなどを行う。	絵本にまつわるワークショップを通して、子どもたちの様々な興味関心を広げることができた。また地域ボランティアに協力していただくことで、交流も深まった。
57			(5) 地域間交流活動														
58			左京東山児童館学童保育所まつり	1	5	1						7			13	ステージ発表やコーナー遊びを楽しみながら、他館所や地域の人たちと交流する。	今年度は児童の引率は無し。
59			左京東山児童館学童保育所なかよし卓球大会	1												他館所との交流卓球大会。	今年度は児童の引率は無し。
60			第11回京都子ども将棋交流大会(1日目)	1		1	1	1	1						4	京都市の児童館学童保育所の将棋大会。オンライン開催。館内大会の入賞者が出場。	パソコンを利用しての対戦だったので、事前に何度か操作の練習を行った。当日は緊張感があったが、和やかに将棋を楽しむ姿があった。参加者にとって貴重な体験となった。
61			第11回京都子ども将棋交流大会(2日目)	1		1		1				1			3	京都市の児童館学童保育所の将棋大会。1日目上位入賞者が出場。くろ合金戒光明寺にて開催。	職員の内率はなし。出場者とその保護者で、出場。参加者にとって貴重な体験となった。一連の将棋の取り組みを通じて、子どもたちに将棋に親しみきっかけを作ることができた。
62			左京・東山児童館学童保育所交流ドッジボール大会	1		11	20	6	2						39	左京・東山の児童館学童保育所が参加するドッジボール大会。子どもたちの交流を図る。	ドッジボール練習の成果を発揮できた。他館所の子どもたちとの交流を通して、市原野児童館だけではできない体験ができた。
63			(7) 思春期児童の活動支援														
64			中学生よっといDAY	12						24					24	月に一度中学生が夕方時間に集まって自分たちのやりたいことを企画、実行する。	おやつを食べたりしながら、職員を交えてのんびり会話をする中で、児童館が「中高生のひとつの居場所」になっていることが分かった。今後、参加者が増えるように、中高生のニーズを聞きながらさらに楽しい内容としたい。
65			中学生世代と赤ちゃんと交流事業「カプチーン」	4	18		2			11	14				45	中学生世代と赤ちゃんと出合い交流することで、子どもや家族の大切さや命の尊さに気付く活動。年5回予定。	「オリエンテーション・おもちゃづくり」「水遊び」「赤ちゃんの成長とおやつ講座」「線日あそび」など、座学やあそびを通して参加者の交流や相互の理解が進んだ。一方、中学生の参加がさらに増えるように日程や広報を工夫したい。
66																	
67																	
68			合 計	267	266	729	2559	328	637	82	378		10	141	5130		
69																	
70		推															
71																	
72																	
73																	
74																	
75																	
76																	
77																	
78																	
79																	
80																	
81			合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
82																	
83			子ども育成機能 合 計	267	266	729	2559	328	637	82	378	0	10	141	5130		
84																	

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。

	活動	小4～6年（自由参加）	37	主任児童委員 その他 { }			非行・問題行動 その他 { }	13	小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		
		中学生 高校生	10								
	件数 計	240	—	240	—	240	—	0			
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育成・支援内容		成果と課題			
推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題				
		「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引き換え	随時	引き換えに来られた親子に児童館の案内をおこなう。			出産をされた方が児童館に来館されるきっかけとなった。				
		「京都市子育て応援バスポート事業」	随時	受付に設置し、希望者に配布。			はじめての方などに声をかけるが、アプリバージョンを持っておられる方が多い印象。				
		「ゆずりますもります事業」	随時	使用しなくなった子育て用品のリサイクル活動			設置しているが、活用には至っていない。使わなくなったおもちゃなど、「児童館でもらってもえませんか？」と持ち込まれる方が増えた。				

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	福	社	促	進	機	能	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
											乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合計
												自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
								ふれあいBook love	26	児童館	126	0	0	0	0	0	125	251	読み聞かせボランティア	回数を重ねるごとに、利用者に周知され、段々と参加人数が増えていった。図書ボランティアの方がほぼ毎回参加していただき、読み聞かせで活躍して下さっただけでなく、季節の遊びや自然物の観察においても、積極的にかかわって下さった。
								絵本クラブ「ゆかいなくま」	23	社協・民協・児童館	20	65	142	1	35	4	21	288	社協・民協	昨年度に引き続き、飲食の企画を中止し、定員を設けて行った。1カ月前の季節行事を行う事で、作成した作品も参加者から好評で家庭で長く楽しんでもらうことができた。サロンの方々に任せられることが増えている中、地域主体の活動となるよう支援し、得意なことを活かした活動をお願いしていきたい。
								乳幼児親子クリスマス会	1	児童館・さくら会・子育てサロン	21	0	0	0	0	0	21	42	さくら会・子育てサロン	軽食の中止や、定員を設けた2部制等の感染症拡大防止対策をしながら実施。規模は縮小したが、さくら会さんの遊び、子育てサロンのサンタ等、児童館で活動する異なる団体の合同活動により内容が充実して乳幼児親子がより楽しむことができた。
								川島織物セルコン企画「カラフルメッセージカード」	2	児童館・川島織物セルコン	0	1	19	0	7	0	3	30	川島織物セルコン	毎年夏休みに行っている川島織物セルコンとの合同行事。今年度は緞帳系やレース等を利用した工作をおこなった。
								七夕メッセージカードづくり	6	児童館	0	0	0	0	0	0	0	141	社協	社協ボランティアの配食部門からの依頼を受けて、お弁当に添える七夕メッセージカードを作成した。子どもたちは色を塗ったり思い思いのメッセージをしたためた。後日、配食を利用した方からお返事が届き、文通という形での交流が実現した。
								夏まつり	1	児童館	30	30	23	15	9	2	67	176	学童クラブ保護者会 市原野社会福祉協議会 市原野消防分団	保護者会は「あてもの」「ヨーヨー釣り」のお店を開き、社協はサロンスタッフがボランティアとして参加し、子どもたちのお店などにサポート役として入って下さった。市原野消防分団と交通安全会は、周辺道路の交通整備をして下さった。コロナ禍での開催となったが、地域の関係団体の方々のお力添えもあり、開催することができた。
								夏まつり浴衣着付け	1	児童館	0	0	12	0	4	0	0	16	市原野学区社協	地域の方に浴衣の着付けを手伝っていただいた。子どもたちは綺麗な浴衣が着れてとても喜んでいて。子どもたちと地域の方の交流のきっかけにもなった。
								本の虫プロジェクト「ポップづくり」	3	児童館	2	5	20	0	3	0	2	32	読み聞かせボランティア 工作ボランティア	読み聞かせボランティアの方と、工作ボランティアの方が参加して下さり、子どもたちにポップ作りを指導して下さった。ポップ制作を通して、改めて、絵本の素晴らしさを理解体感することができた。絵本の楽しさを広く知らせる良い機会となった。
								すこやかミニデー	0	学区社協	0	0	0	0	0	0	0	0	市原野学区社協	コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。
								七夕まつり	1	恵光寺	5	12	3	0	2	0	4	26	ネットワーク会議	恵光寺の境内で、短冊を書き、笹飾りを折り紙で作った。お寺の方に丁寧に教えてもらい、完成したものを飾り付けた。
								市原ハモハ鉄扇踊り	0	市原ハモハ尼講中	0	0	0	0	0	0	12	12	ネットワーク会議	大雨で開催は叶わなかったが、午前中から準備にたくさんの方の出入りがあった。
								じどうかんこどもまつり	1	児童館	34	37	0	10	0	3	37	121	学童クラブ保護者会 市原野社会福祉協議会 市原野消防分団	社協ボランティアと学童クラブ保護者会の方々には写真コーナーや受付などをお手伝いして下さり、市原野消防団と交通安全会の方々は周辺道路の交通整備をして下さった。コロナ禍でのこどもまつりを実施して行く中で、昨年度は関係団体への協力依頼をおこなえなかったが、今年度は関係団体へ依頼内容を精査し協力を得ることができたことが成果といえる。
							(1)地域住民との交流を促進する活動	ドキドキもぐらたたき	1	児童館	0	6	4	0	1	0	0	11	地域の工作ボランティア	地域の方の企画と指導で、大型段ボール、木材、ノコギリ、ガムテープなどを使って工作した。子どもたちの関心も高く、普段よりも難しい工作に取り組む良い機会となった。参加者の交流も深まった。
								メカバラ!	1	児童館	1	4	12	2	4	0	1	24	地域の工作ボランティア	平日企画としては参加申し込み多数。多くの子どもたちが興味好奇心を持って、機械の分解に取り組むことができた。要望の声も多く、来年度も改善して企画したい。
								干支のウッドオーナメント	1	児童館	2	6	3	0	1	0	5	17	地域の工作ボランティア	地域の工作ボランティアの方を招いて実施。親子参加を促したところ、5組の親子参加があった。子どもにも保護者にも丁寧に指導していただき、素敵な作品ができあがった。
								親子ですっきりヨガ	1	児童館	6	0	0	0	0	0	9	15	社協ボランティア	子育て講座開催中の子どもの見守りを社協ボランティアさんに依頼して行った。部屋から出てしまった子どもや抱っこが必要な子どもなどの対応。参加した保護者から「見守りの目が合って安心して参加できた」と感想があった。
								市原野児童館本将棋大会	1	児童館	1	4	14	2	3	0	4	28	地域のボランティア	将棋の好きな地域の方がボランティアとして参加して下さった。本将棋の審判員を務めてくださる。
								Zooっとあそぼ! いちはらのじどうかん	1	児童館	82	42	0	18	0	2	116	260	市原野社会福祉協議会 市原野消防分団 交通安全会	市原野児童館の20周年記念イベント。学区社協の方に受付を、消防分団の方と交通安全会の方に周辺道路の交通整備をお願いした。また児童館に関わりの深い地域の方に挨拶をお願いした。
								ボランティア交流会	1	児童館	0	0	0	0	0	0	11	11	ブチスタ会議 子育てサロン「夢わかば」	今年度初開催。児童館で活動しているブチスタ会議と子育てサロン「夢わかば」のメンバーで、茶話会。普段の活動の様子や、これから目指していく方向性を共有し合う。参加者からは、「お互いの活動内容を知ることができてよかった」と好評であった。来年度以降も続けていきたい。

		子どもまつり地域実行委員会	0	児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	各種団体	コロナウイルス感染症拡大防止対策のためこどもまつりの規模を縮小して実施したため、地域実行委員会は開催しなかった。しかし、児童館運営協力会にて、お手伝い頂きたい団体へ児童館から直接、協力依頼のお声かけをする了承を得て、こどもまつりでは地域の方々にご協力いただくことができた。		
		子どもまつり学童クラブ保護者実行委員会	0	児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	学童クラブ保護者	コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、規模を縮小して行い、保護者会の手伝いは無し。		
		市原野小学校図工展出展	0	市原野小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	市原野小学校	コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、外部団体へ依頼がなかった。		
		市原野子育て支援ネットワーク本会議	1	児童館(事務局)	0	0	0	0	0	0	37	37	各種団体	令和3年度より企画していた、シンポジウムを「静市原野いいとこみっけ」と題しておこなった。市原野小学校校長の西田氏に講師を依頼して、小学校で開催。3年ぶりに、地域の各種団体が一堂に会し交流する機会となった。参加した方からは「このような学びの機会を設けてもらい感謝している」という言葉をいただいた。		
		市原野子育て支援ネットワーク会議運営委員会	3	児童館(事務局)	0	0	0	0	0	0	26	26	各種団体	本会議を開くことができなかったが、運営委員会を3回開催した。市原野地域のネットワーク会議が途切れてしまわないように、少しでも次の活動へ繋げていけるように対策を講じて実施した。		
		児童館運営協力会	3	児童館運営協力会	0	0	0	0	0	0	14	14	各種団体	ネットワーク会議とともに開催。児童館が開催する行事や取り組みについて今年度の計画などをお伝えし、地域の関係諸団体の方々に協力を依頼する機会となった。		
		児童館運営協力会総会	1	児童館運営協力会	0	0	0	0	0	0	13	13	各種団体	年に一度行う児童館運営協力会総会。その年に開催した児童館の行事や取り組みについて報告を行い、次年度以降も児童館事業について各団体にご理解ご協力をいただけるよう伝える機会となった。		
		左京北部サンサンひろば	1	左京北部の児童館	44	0	0	0	0	0	47	91	各学区社協・民協	去年に引き続き岩倉南児童館で開催。公園の紅葉がさかりで写真を撮っている保護者も多かった。ひみちちゃんの人形劇や工作コーナーなどゆっくりと楽しんでいた。		
		合 計	81	-	374	212	252	48	69	11	575	1682				
地 域 福 祉 促 進 機	基 本 活 動	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題							
					中	高	大	大	人	合						
		さくら会			0	0	22	22	今年度、予定していた11回すべてを行うことができた。毎回、乳幼児親子のために工夫を凝らしたプログラムを用意していただき、参加した子どもたちも喜んでいました。							
		子育てサロン「夢わかば」			0	0	50	50	今年度、予定していた10回すべてを行うことができた。季節の行事や野菜の収穫など市原野ならではの取り組みも多く、保護者からも人気である。							
		乳幼児親子クリスマス会			0	0	10	10	2部制とし、間に消毒作業の時間を設けて行った。短い時間の開催となったが、その分内容は盛りだくさんで、工夫を凝らしたクリスマス会を行う事ができ利用者も満足しておられた。							
		プチスタ会議			0	0	71	71	今年度は新メンバーを加え、より賑やかになったプチスタ会議。それぞれに仕事や用事がある中に1度集まって、クローヤンクラブの工作準備や、壁面作成など担ってくださった。また、「ダンボル子劇場」や「クリスマス会」では、実際に乳幼児親子との交流の機会を持つことができた。年度末に1名プチスタ会議を卒業されたが、令和5年度も存続。							
		土曜企画			0	0	6	6	土曜企画「モグラたたき」、「ウッドオーナメント」、「まんがワークショップ」では、地域のボランティアの方に講師をお願いして企画を行った。職員だけでは、できない木工工作や専門的なワークショップなどに子どもたちの反応もよかった。							
		図書ボランティア			0	0	82	82	昨年度から活動している図書ボランティア。毎月2〜3回集まって図書室の本の整理や工作の準備などを担ってくださっている。今年度は新たに本にブックカバーをかける作業に力を入れておられた。							
		プランター栽培活動			0	0	23	23	子育てサロン「夢わかば」のメンバーで、エンドウ豆の栽培とサツマイモの栽培をおこなう。定期的な水やりと、追肥などの作業をしてくださった。							
		ちよばあの手づくり広場			0	0	13	13	千代前館長による手づくり広場。様々な手づくりを通して、子どもたちが自分で1つのものを工夫して作り上げる喜びを得ることができた。							
		絵本クラブ「ゆかいなくま」			0	9	36	45	今年度新設のクラブ。2名の読み聞かせボランティアさんのほかに、精華大学の学生が造形活動の際に参加して、子どもたちに教えてくださった。							
			合 計	0	9	313	322									
		連 携 団 体 等	連 携 内 容									成 果 と 課 題				
		市原野自治連合会・市原野小学校 市原野小学校PTA 洛北中学校PTA・市原野保育園 市原野保育園保護者会 児童館学童クラブ保護者会 静市民生児童委員会市原野	<なつまつり> ・受付・ゴールのお手伝い ・駐車場や会場の整備、警備 <児童館こどもまつり> ・受付・ゴールを担当 ・駐車場や会場の整備、警備									なつまつり、こどもまつり、20周年記念イベントで関係団体に協力依頼。コロナ禍のため全団体へのお願いではなく、学童クラブ保護者会、交通整理にかかわってくださる消防分団と交通安全会、また社会福祉協議会ボランティア部への要請を行った。来年度以降、コロナ対策が緩和された際には、連携団体との関係を再構築し、地域との連携を促進していきたい。				
	(2) 地域との															

能		<p>ハの地域との連携を促進する活動</p>	<p>児童館運営協力会 市原野社会福祉協議会 市原野体育振興会・市原野消防分団 市原野交通安全会・市原野女性会 北シルバークラブ・すこやかクラブ 保護司会・少年補導市原野支部 立番ボランティア・静市交番</p>	<p>・駐車場や会場の整備、警備</p> <p><Zooつとあそぼいちはらの(20周年イベント)> ・受付・ゴールを担当 ・駐車場や会場の整備、警備</p> <p><地域子育て支援ネットワーク会議> <地域子育て支援ネットワーク会議運営委員会> ・地域の子どもたちの情報共有 ・静原小学校、市原野小学校の統合に向け地域間の関係諸団体代表者顔合わせ</p>	<p>5月、9月に運営委員会をおこない、11月の本会議の開催を行った。本会議では令和3年度よりあためていた、シンポジウムを、「静市原野いといこみつけ」と題しておこなった。また、次年度へ歩みとして、年度末の3月に運営委員会を開き、令和4年度の活動報告と5年度の取り組みについて話し合い、方向性を決めた。</p>
---	--	------------------------	---	---	--

(令和4) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京 都 市 市 原 野) 児 童 館

基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		児童館運営協力会	市原野自治連合会・市原野社会福祉協議会 静市民生児童委員会・少年補導委員会市原野支部 市原野体育振興会・市原野消防分団 市原野交通安全会 北シルバークラブ・すこやかクラブ 市原野女性会・市原野保健協議会 市原野保育園・市原野保育園保護者の会 市原野小学校・市原野小学校PTA 洛北中学校・洛北中学校PTA 市原野児童館学童クラブ保護者会 いちばらの学童OB会		会議 (年4回) なつまつり (年1回) じどうかん こともまつり (年1回) 20周年記念 イベント(今年 度のみ)		総会を含め、年間4回の会議を滞りなく行うことができた。コロナ終息を見据え、地域の団体と連携して取り組んでいけることを考え、話し合い、活動につなげていきたいという共通認識はあった。また、なつまつり、じどうかんこともまつり、周年イベントも地域の各団体の協力のもと大盛況で幕を閉じることができた。
地域福祉	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等	使用目的		借先(団体・機関等)	成果と課題	
		紙芝居台	地域の脳トレ教室		社協	普段下の会館で活動されている社協のボランティアさんが用意していた私物を忘れてしまい、急遽借りて来られた。コロナ禍で会場提供や備品貸出等を行っていなかったが、来年度以降、活動が再開された際には積極的に利用してほしい旨お伝えした。	
促進活動	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
		京都市社会福祉協議会が運営する児童館を利用されている皆様へのアンケート	今後の活動の参考のため	児童館を利用している保護者・小学生・中学生	京都市社会福祉協議会	アンケートの実施	日頃から児童館が力を入れている取り組みを高く評価する意見が多くあり、児童館として意図する目的や行事に込めた思いなどが利用者などに伝わっているのではないかと考える。子どもたちの回答からも、児童館で楽しく過ごしていることが読み取れた。地域ボランティアの方々にもアンケートをお願いしているが、活動について特に高い評価をいただき、児童館の活動に理解と協力をいただいていることが分かった。今後も、利用者のニーズをとらえ、意図を持って事業を行ってきたい。
		幼児クラブの活動について「ケロちゃんクラブ」	今後の活動の参考のため	登録親子	児童館	アンケートの実施	ケロちゃんクラブが親も子も大好きであるという嬉しいご意見をたくさん頂戴することができた。また、活動内容については、特に体を動かしたり、感触遊びのような企画が人気であり全体を通して活動内容が充実していると思っただけにすぎた。また、「ケロちゃんクラブ」を卒業して入園する親子も、イベントの際には利用したいという意見が多くあり、周知の方法など工夫すれば、さらなる利用へとつなげられると考える。
		幼児クラブの活動について「ふれあいBook love」	今後の活動の参考のため	登録親子	児童館	アンケートの実施	子どもが好きな絵本を知ることができた。児童館の図書室にある絵本を借りるきっかけになった。と絵本について言及するコメントが多く見られた。また、生き物の観察についても普段子どもと過ごしている中であえて虫に触れてみよう…という機会はなかなか持てないのでクラブの活動で生き物や自然に触れることができよかったという回答もあった。来年度以降も読み聞かせボランティアの方のご協力をいただきながら存続していきたい。
		幼児クラブの活動について「よちよちクラブ」	今後の活動の参考のため	登録親子	児童館	アンケートの実施	よちよちクラブは今年度から1歳6か月までの乳幼児親子を対象に行ったが、「限定されているからこそ過ごしやすい」という意見が100%であった。「リフレッシュできた」「楽しかった」「ざっくばらんに話すことができた」という意見が多く見られた。今年度は、「おはなしタイム」だけでなく、読み聞かせやふれあい遊び、手形取りなどの設定あそびを積極的に取り入れたが、そのことに対しても「継続して欲しい」「外出のきっかけとなった」というコメントが多く寄せられた。
		高学年クラブの活動について	今後の活動の参考のため	登録児童・保護者	児童館	アンケートの実施	参加した子どもがいつも楽しそうにしている、普段できない活動を高学年クラブで体験できたことがよかった。という意見が多く寄せられた。行事への反応としては、七輪パーティが1位、おでかけの2回が同率2位となった。年会費1200円については「安いと感じる」「適切である」という意見に割れており、「高いと感じた」かたはいないことが分かった。今後の要望欄には、「クッキング」再開を希望する声が多く、来年度以降規制が緩和された際にはぜひ、取り入れて行きたい。

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	じどうかんだより	月1回	児童及び地域住民	町内回覧 小学校にて全校配布 (市原野、鞍馬) 静原地域(子育て世帯) 自由持ち帰り用 ホームページ	行事・取組の予定 クラブ活動の予定 前月の行事・取組の報告	例年どおり、小学校全校配布と町内回覧をすることで、多くの地域の方に見て頂くことができました。月初めの行事では特に申し込みまでの期間が短くなってしまうことも多いので、おたよりが出来次第ホームページにアップすることを利用者に伝え、周知した。また、クラブに参加している静原・鞍馬小学校の利用者にもホームページの案内や、電話で詳細を伝えるなどして対応した。一方、町内回覧の締切が1日と15日に変更になったので、1日に遅れないようにおたよりを発行していきたい。また行事の情報に関しては具体的なものを載せるようにし、利用者がイメージしやすい紙面づくりを心掛けたい。
	ぼかぼかだより (乳幼児とその保護者対象)	月1回	乳幼児親子及び地域住民	町内回覧 自由持ち帰り用 ホームページ 静原地域(子育て世帯)	行事・取組の予定 前月の行事・取組の報告	前の月に実施した乳幼児親子対象の行事の様子を写真つきで詳しく載せ、どのような雰囲気で行っているかを知らせることができた。ホームページの活用も利用者に浸透してきており、最新情報が得られることを、次年度も引き続きアピールしていきたい。
	ケロちゃんだより	年5回	乳幼児クラブに登録されている親子	乳幼児クラブにて配布	クラブ予定 クラブ内容 活動の様子	今年度はカラー刷りで多くの写真を載せ、保護者の方に毎回の行事や取り組みを振り返ってもらえる紙面づくりを行った。おたよりを発行するのに時間がかかってしまう事が多かったが、保護者の方には好評だった。今後も保護者の方々の子育ての喜びを共有し、楽しんでいただけるようなおたよりづくりを心掛けたい。
	各月の予定と様子	月1回	児童及び地域住民	館内掲示板・外掲示板	行事予定 クラブ予定 前月の行事報告	児童館表の外掲示板には、行事予定やクラブ予定を月初めに間に合うように掲示し、広く参加者を呼び掛けたり、どのような行事を行っているか分かるようにした。また、館内掲示板には、おたよりに載せきれなかった活動の様子を写真付きで紹介した。学童クラブの保護者や乳幼児親子が館内掲示を毎月楽しみにしているようだった。
	行事のポスター・チラシ	行事ごとに	児童及び地域住民	町内回覧 学校・各地域に配布 掲示板(区役所出張所・スーパー) 乳幼児クラブ・広場にて配布	季節の行事・児童館まつりなど 日時、場所、内容、対象年齢、 ねらい、情報提供等	児童館のまつり周年イベント、やきいもパーティなど、広く参加を呼びかける際は、ポスター・チラシなどで告知した。
	立て看板	年2回	児童及び地域住民	門前に掲示	なつまつり・こどもまつり	なつまつり、こどもまつり、周年イベントの際に立て看板を設置した。児童館の前に大きな看板を掲示することで、楽しそうな雰囲気を伝え、地域の方々により広く行事の告知をすることができた。
	ホームページの更新	都度	児童及びその保護者 乳幼児親子及び地域住民	ホームページ	コロナ関係文書・利用者票等各種届出・他の掲載	普段から、おたより等の情報の伝達が早いホームページを利用者の方に活用してもらうように宣伝した。また、コロナウィルス感染症拡大防止のため、児童館事業の休止やコロナ関連文書をホームページに載せ周知を図った。
	子育て支援ネット通信	発行なし	地域住民	全戸配布(自治連合会に依頼)	子育て支援ネットワーク会議の内容・報告情報提供など	市原野地域子育て支援ネットワーク会議発行。コロナ禍以前は年1～2回発行されていたが、2020年2月号を最後に発行されていない。規制が緩和される2023年度以降は、年一回でも発行できるよう検討したい。
	自治連ニュース	年1回	地域住民	全戸配布・記事を投稿	児童館の行事報告・行事予定など 子育て支援ネットワーク会議の活動報告	自治連合会発行。以前は年2回発行されていたが、コロナ禍のため2020年1月号からしばらく休刊。令和4年度、2023年1月号が発行された。児童館の活動を改めて地域に広報することができた。